

令和8年2月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和8年2月分について、輸出額は「自動車の部分品」「半導体等製造装置」「自動車」などが減少したことから、対前年同月比3.3%の減少となった。また、輸入額は「衣類及び同附属品」「絶縁電線及び絶縁ケーブル」「液化石油ガス」などが増加したことから、同16.4%の増加となった。
その結果、差引額は7,257億円（同16.8%の減少）となった。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降**177ヵ月（14年9ヵ月）連続 全国港別（空港含む）第1位**

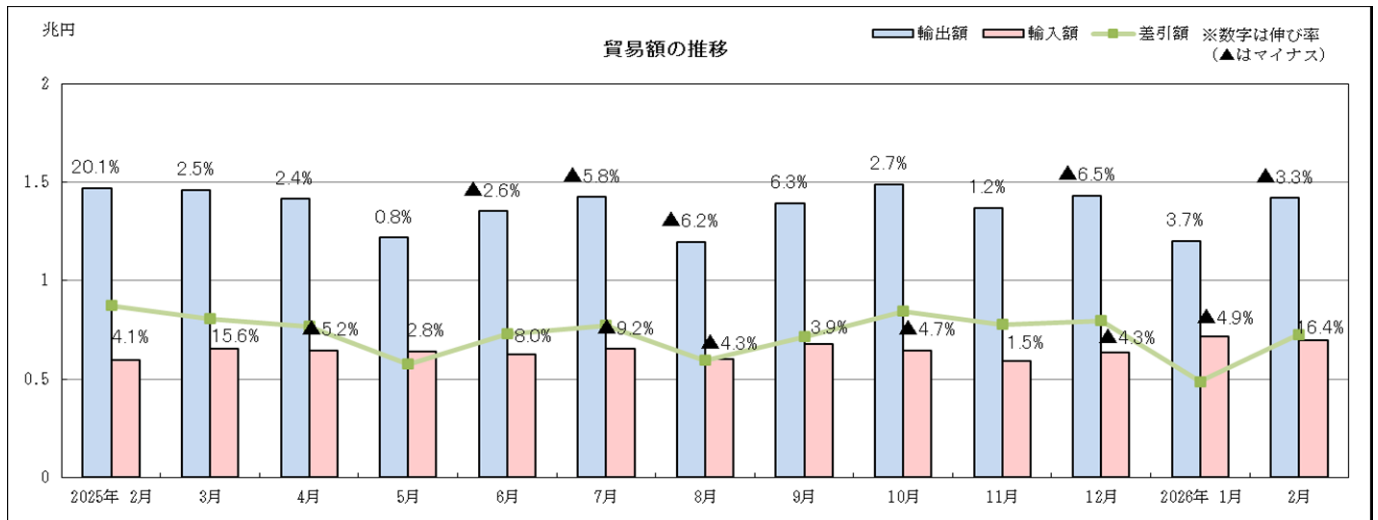
注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額		伸率	輸入額		伸率	差引額		伸率
名古屋港	1兆4,206億円		▲3.3%	6,950億円		+16.4%	7,257億円		▲16.8%
	2ヵ月ぶりの減少			3ヵ月ぶりの増加			2ヵ月ぶりの減少		
	順位	過去 12 位	2 月として 2 位	順位	過去 4 位	2 月として 1 位	順位	過去 21 位	2 月として 2 位
管内（名港シェア）	2兆2,063億円（64.4%）			1兆2,451億円（55.8%）			9,612億円（—）		
全国（名港シェア）	9兆5,716億円（14.8%）			9兆5,143億円（7.3%）			573億円（—）		

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出減少	(1) 自動車の部分品	1,510億円	▲15.3%	▲1.9	2ヵ月ぶりの減少
	(2) 半導体等製造装置	224億円	▲48.0%	▲1.4	2ヵ月ぶりの減少
	(3) 自動車	4,557億円	▲4.2%	▲1.4	4ヵ月連続の減少
輸入増加	(1) 衣類及び同附属品	385億円	+34.1%	+1.6	2ヵ月ぶりの増加
	(2) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	★ 451億円	+27.2%	+1.6	2ヵ月ぶりの増加
	(3) 液化石油ガス	89億円	+447.7%	+1.2	3ヵ月ぶりの増加



※名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。